

軍需品で巨利を

収めつゝある昭和製作所

株式会社、昭和製作所は、（東京市大森區堤方町二十二番地所在）昭和三年四月、參拾萬圓（拂込貳拾萬圓）の資本をもつて、創立になる大倉商事の直系會社である、代表取締役山田馬次郎、常務取締役伊藤善夫、取締役今井文平、石田直吉、玉木誠次郎、相談役今井修二、顧問海軍少將杉浦正雄、長尾秀二、監査役に脇道馨、田代平一

創立當初は、數百坪の敷地に百餘坪の工場をもつて、僅々數拾人を使用し、電磁機、携帯用發電機の製作を開始したのでありま

す

然るに昭和六年一度滿洲事變の勃發するや、莫大な軍事品の受註をうけ、一躍して、工場敷地を三千餘坪に、工場數棟を新築し更に本年二月蒲田梅屋敷に堂々たる分工場を新設し、日給者六百三十餘名、月給者百三十三名の多くを雇傭するに至り、資本金も壹百萬圓に増資するの大發展をなしたのであります

本會社は大倉組の直系會社として、株式は全然公開されざるものであるから、その利益率を數字的に覗ひ知ることが出来ないものであるが、近々七ヶ年の歲月により、かくも異狀な發展を見たのは如何に會社が此の軍事品の受註により巨額の利益を収めたかを充分に知ることが出来るのであります